

## 2023年度

科目名称	基礎整復学
授業コード	BH357
英語名称	Fundamental reposition by Judo 6
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	行田 直人 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	臨床的な医学・柔道整復学の知識・理解をさらに深め、基礎整復学演習 で習得した内容から、さらに実践的応用能力に対応できる教育を行う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	主に外傷に対する保存療法を取り上げ、臨床経験豊富な本学教員（柔道整復師）が、外傷発生メカニズムや保存療法の適否、保存療法の処方などを教授する。
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる臨床現場で実践可能な知識を身に付けるため、外傷発生メカニズムや保存療法の適否、保存療法の考え方を理解する。
計画・内容	<p>担当：行田直人（柔道整復師）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．競技者の外傷発生状況について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>2．外傷発生要因と予防対策について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>3．メディカルチェックについて 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>4．外傷予防における各種コンディショニング方法について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>5．競技例1）柔道における外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>6．競技例2）水泳における外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>7．競技例3）バスケットボールにおける外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>8．競技例4）サッカーにおける外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>9．成長期における外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>10．高齢者の外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>11．コンディショニングの応用例（上肢・体幹） 担当：行田直人 予習：上記内容について調査 復習：上記内容について</li> <li>12．コンディショニングの応用例（下肢） 担当：行田直人 予習：上記内容について調査 復習：上記内容について</li> <li>13．外傷予防のおさらい（講義1～4） 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>14．外傷予防のおさらい（講義5～8） 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> <li>15．外傷予防のおさらい（講義9～10） 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について</li> </ol>
授業の進め方	教科書および必要に応じて資料を配布し授業を行う。 コロナウイルスの状況により、本講義はcampus square上での課題学習、オンライン講義等で行う。

## 2023年度

能動的な学びの実施	毎回確認テスト（課題）とその解説を適時行い、理解度の振り返りを行う。
授業時間外の学修	予習・復習に合計60時間以上行うこと。 予習：講義終了後に予習内容を通知する 復習：講義にて特に重要な箇所を指示する。
教科書・参考書	参考書：競技者の外傷予防（全国柔道整復学校協会監修；医歯薬出版）
成績評価方法と基準	教科書内容に準じた授業資料に関する小テスト（20%）および定期試験（80%）で総合評価する。
課題等に対するフィードバック	小テストなどで成績の低かった学生には適時指導を行う。
オフィスアワー	Campus squareを参照すること。
留意事項	これまで学んだ生理学、解剖学や柔道整復学の知識が必要である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 事前に授業資料をcampus squareにて掲示、授業終了後に課題を課す。 授業資料を基に課題回答内容評価20%およびcampus square掲示機能による定期試験80%により評価する。